

	中期経営目標概要	短期経営目標概要	概要	1学期			2学期			3学期			平均			地域 学校 関係者	概要					
				期	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員	生徒	保護者			教員				
																			1	2	3	4
実 社 会 に 生 き て 働 く 学 力	主体的に学ぶ姿勢を重視し、協働的な学びと個別最適な学びの相乗効果を図り、自ら課題を見出し解決を図る実践的な課題解決力や「実社会に生きて働く学力」を養う。	短期経営目標概要	授業目標・課題を明示し、生徒の興味を引き出し、受け身の暗記・再生ではなく、目標・課題に向けて思考・判断を伴う知識・技能の活用を図り、達成感の得られる授業の工夫・改善を行う。常に生徒の視点に立ち、生徒主体の学習活動を展開する。	自ら学ぶ意欲	1	3.9 (4.1)	3.9 (3.7)	3.9 (3.7)	3.9 (4.1)	3.8 (3.7)	4.3 (3.6)	4 (4.1)	3.7 (3.7)	3.9 (3.8)	3.9 (4.1)	3.8 (3.7)	4.0 (3.7)	4.0	自ら学ぶ意欲			
			生徒が自ら発する「問い」を大切に出发点として、「探究の過程」を支援し、生徒が知識・技能を活用し思考・判断を働かせながら、対話的に深く学び、自分なりの「答え」を見出せるよう支援を行う。	探究力	2	3.7 (4.1)	3.5 (3.7)	3.9 (3.7)	3.7 (4.1)	3.3 (3.7)	3.9 (3.6)	3.8 (4.1)	3.5 (3.7)	3.6 (3.6)	3.7 (4.1)	3.4 (3.7)	3.8 (3.6)	3.7 (3.7)	3.8 (3.7)	3.7	探究力	
			各教科領域において、学び合いやグループ学習により、自身の意見や考えを伝えられるように、発表の場を増やし、対話的・協働的に課題解決を図る授業を展開する。各教科の本質である「見方・考え方」を働かせ課題解決を図る学習内容や形態を工夫する。	協働的な学び	3	3.9 (4.0)	3.6 (3.5)	4 (3.5)	3.9 (4.0)	3.4 (3.6)	4.0 (3.6)	4 (4.1)	3.5 (3.7)	3.6 (3.6)	3.9 (4.1)	3.5 (3.7)	3.9 (3.6)	3.9 (3.6)	3.9 (3.6)	3.9	協働的な学び	
			ICT機器の活用(学校内)	4	3.9 (3.8)	3.5 (3.2)	3.6 (3.2)	4.0 (3.8)	3.5 (3.2)	3.7 (3.2)	4.1 (3.9)	3.6 (3.3)	3.8 (3.4)	4.1 (3.9)	3.6 (3.3)	3.8 (3.4)	4 (3.8)	3.5 (3.2)	3.7 (3.2)	3.8	ICT機器の活用(学校内)	
			ICT機器の活用(家庭内)	5	3.0 (3.8)	3.1 (3.2)	2.7 (3.2)	3.3 (3.7)	3.1 (3.2)	2.8 (3.2)	3.3 (3.7)	3.1 (3.4)	2.8 (3.5)	3.3 (3.7)	3.1 (3.3)	2.8 (3.5)	3.2 (3.7)	3.1 (3.3)	2.767 (3.3)	3.1	ICT機器の活用(家庭内)	
			ICTやタブレット端末を効果的に活用するなど学校と家庭の双方において個々の学習ニーズや学習スタイルに応じた個別最適な学習を可能にする支援・指導を行う。また学力不振生徒に対しては補充学習等の充実を図る。生徒自身が自らに合った学習の進め方や学び方を考えたり、選択することができるように支援・指導する。	個別最適な学び	6	3.5 (3.7)	3.4 (3.2)	3.8 (3.4)	3.6 (3.7)	3.3 (3.2)	3.8 (3.2)	3.7 (3.7)	3.3 (3.2)	3.4 (3.2)	3.7 (3.7)	3.3 (3.4)	3.4 (3.5)	3.6 (3.7)	3.3 (3.3)	3.7 (3.3)	3.5	個別最適な学び
豊 か な 人 間 性	あたたかな環境と信頼関係のもと、互いの個性や人格を尊重する心や自他のよさを引き出し高め合える「豊かな人間性」を育む。人格教育と道徳教育の充実を図る。	あたたかな環境と信頼関係のなかで、互いの人格を尊重し、自他ともに大切に育てる「思いやり」の心を育み「豊かな人間性」を培う。	全教育活動における様々な体験活動の中で、あたたかな環境と人との信頼関係を築き、互いの人格を尊重し「思いやり」の心をもって他の人に接することができる「豊かな人間性」を培う。「西東京あったか先生」の取り組みを推進し、人権について考える機会を設ける。道徳地区公開講座等を活用し道徳教育を充実させる。	思いやり	8	3.0 (4.2)	4.0 (3.9)	4.1 (3.9)	4.1 (4.2)	4.0 (3.9)	4.3 (4.3)	4.1 (4.2)	3.9 (4.0)	3.9 (4.0)	3.7 (4.2)	4.0 (3.9)	4.1 (4.1)	4	思いやり			
			深い生徒理解に基づく生徒指導を推進し、いじめ撲滅と予防に向け、毎月アンケートを行い、情報を収集し早期の対応を図る。生徒会活動等を通して、意識の向上を図り困っている人を見逃さず声を掛けて助けられるような生徒の育成を行う。	良好な人間関係	9	4.1 (4.4)	4.1 (4.1)	4.0 (3.4)	4.1 (4.4)	3.9 (3.9)	4.2 (3.8)	4.2 (4.3)	4 (3.9)	3.8 (3.9)	4.133 (4.4)	4.0 (4.0)	4.0 (3.6)	4.0 (3.6)	4.0	良好な人間関係		
			いじめ防止対策推進法に基づき、学校・地域住民・家庭その他関係者の連携の下、いじめの問題克服に向けて取り組みを行う。	共助支援	10	3.9 (3.9)	3.8 (3.8)	4.2 (4.1)	3.9 (3.9)	4.1 (3.8)	4.4 (4.2)	3.9 (3.8)	3.8 (3.7)	4.2 (4.2)	3.9 (3.9)	3.9 (3.8)	4.3 (4.2)	4.3 (4.2)	4.3 (4.2)	4.0	共助支援	
			様々な意見や考え方を受け入れ、尊重しながら共に生きる、豊かな人間性や社会性を育む。協働社会の担い手として、自己の果たす役割や共助の気持ちも育む。	教育相談	11	3.7 (4.1)	3.7 (4.1)	4.3 (4.1)	3.9 (4.1)	3.7 (3.9)	4.3 (4.1)	4 (4.1)	3.8 (3.8)	4.0 (3.7)	3.9 (4.1)	3.7 (3.9)	4.2 (3.8)	4.2 (3.8)	4.0 (3.8)	4.0	教育相談	
			道徳教育の充実を図り、道徳の実践力を高める。	やり抜く力	12	3.9 (4.2)	4.2 (4.1)	3.6 (3.6)	4.1 (4.2)	4.2 (4.0)	3.6 (3.7)	4.1 (4.2)	4.1 (4.0)	4 (3.7)	4.0 (4.2)	4.2 (4.0)	3.9 (3.7)	4.0 (4.2)	4.2 (4.0)	3.9 (3.7)	4.1	やり抜く力
			健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。各教科・領域において体力増進、心身の健康、食育など、健康に関する指導の充実を図り、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送れるように支援を行う。	健康体力	13	3.9 (4.1)	3.8 (4.0)	3.6 (3.7)	4.0 (4.1)	3.6 (3.9)	3.8 (3.8)	4.0 (4.1)	3.6 (3.8)	3.8 (3.7)	3.967 (4.1)	3.7 (3.9)	3.7 (3.8)	3.7 (3.8)	3.7 (3.8)	3.8	健康体力	
社 会 に 貢 献 す る 心	学校生活や地域の様々な集団活動を通して、生徒が自ら集団や社会のよさや規範の意義を理解し責任と役割を主体的に果たせるように支援を行う。また、働く人々から直接あるいは間接的に学び、社会に貢献する意欲・意識を培う。挨拶運動・ボランティア活動等の体験を通して社会貢献に貢献する心や社会貢献の基本的行動を身に付けられるように支援する。	生徒の主体的な集団活動の中で、生徒が自ら集団の倫理を自律的に高められるように支援する。集団活動の中で生徒一人一人が倫理感や責任感、自律心を向上させ、正しい判断に基づき行動できるようにする。	物事の良し悪しの判断・挨拶・授業規律・時間厳守を生徒主体の集団活動の中で身に付けられるように支援する。生徒の自主・自律を目指し、集団内で自らを生かした責任ある行動がとれるように支援を行う。	正しい判断	14	4.1 (4.3)	4.1 (4.1)	4.2 (4.0)	4.1 (4.3)	4.0 (3.9)	4.3 (3.9)	4.1 (4.2)	4.0 (4.0)	4 (4.1)	4.1 (4.3)	4.0 (4.0)	4.2 (4.0)	4.1	正しい判断			
			生徒自らが進んで挨拶をし、お互いが気持ちよく過ごせるためのルールやマナーを尊重し実践できるようにする。集団活動の中で、集団や社会的規範の意義と重要性を理解し自他を律し規範に即して行動できるようにする。	あいさつ規範意識	15	4.0 (4.2)	4.0 (3.8)	4.0 (4.0)	4.0 (4.2)	3.9 (3.7)	4.2 (3.8)	4.1 (4.1)	3.9 (3.8)	4.2 (3.9)	4.0 (4.2)	3.9 (3.8)	4.1 (3.9)	4.1 (3.9)	4.1 (3.9)	4.0	あいさつ規範意識	
			学校生活の様々な集団活動を通して、集団や社会のよさや意義を理解し、責任と役割を主体的に担うように支援する。地域や社会で働く人々から直接あるいは間接的に学び、またボランティア活動等の体験を通して、社会に貢献する心や社会貢献の基本的行動を身に付けられるように支援していく。	社会に貢献する心	16	3.9 (4.0)	3.7 (3.2)	3.5 (3.5)	4.0 (4.0)	3.7 (3.2)	3.9 (3.4)	3.9 (3.9)	3.7 (3.3)	3.9 (3.7)	3.9 (4.0)	3.7 (3.2)	3.9 (3.5)	3.8 (3.5)	3.8 (3.5)	3.8	社会に貢献する心	
			業務改善について教職員の意識改革を図る。	業務改善	17			3.0 (2.6)			3.3 (2.7)			2.6 (2.6)			3.0 (2.8)				業務改善	
勤務時間、健康管理やライフワークバランスを意識した働き方を推進する。	ライフワークバランス	18	平日の平均在校時間をおおよそ11時間/日(朝8:00～19:00)を超えずに勤務する。(週平均勤務時間55時間/週を超えない。)		2.7 (2.4)			2.9 (2.3)			2.4 (2.5)			2.7 (2.4)				ライフワークバランス				
勤務時間の管理を徹底する。		19	有給教料20日(年間給付日数)のうち10日以上取得する。					3.3 (2.3)			2.4 (2.5)			2.9 (2.4)								